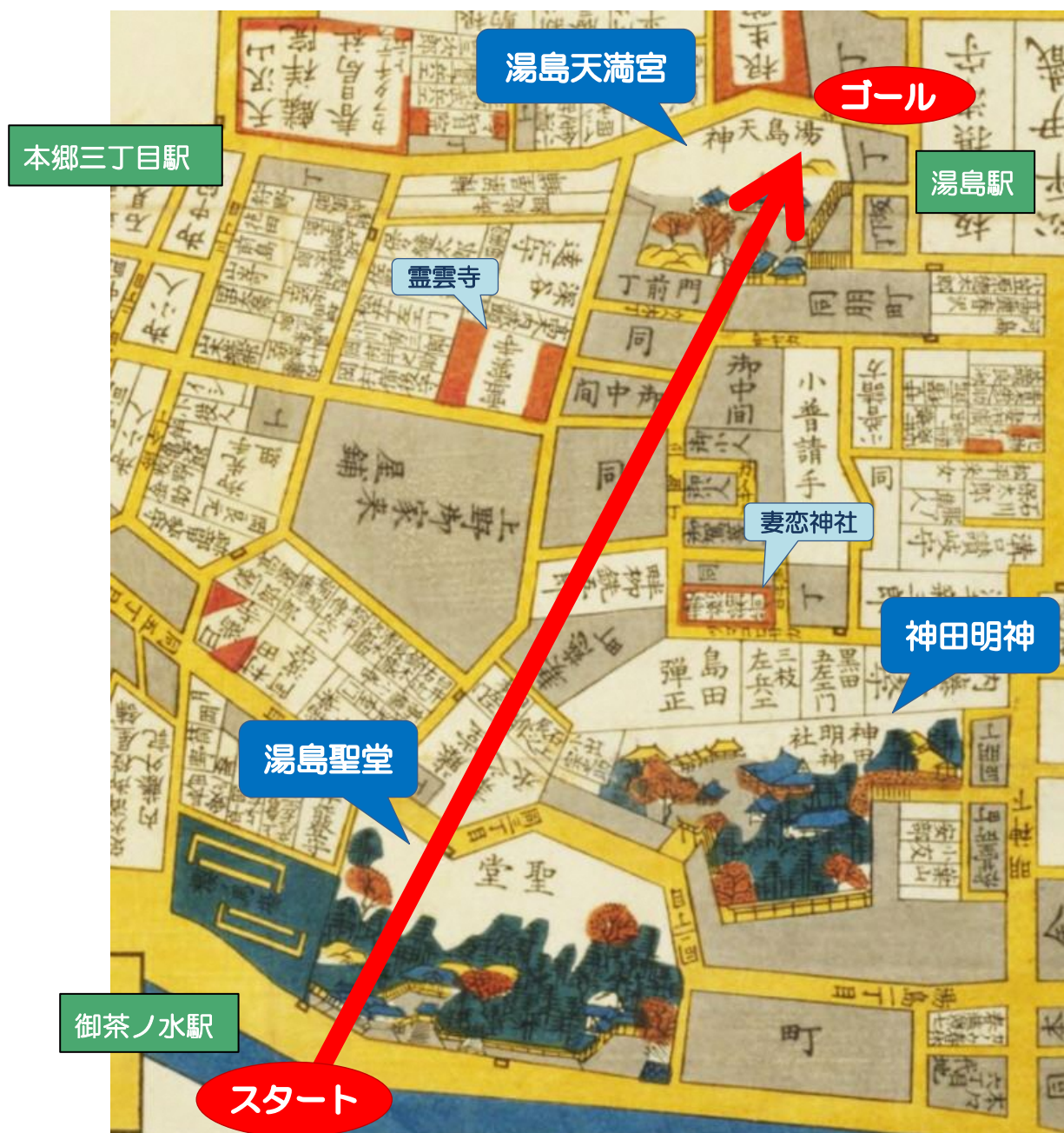


⑤ 学問の聖地湯島コース



「本郷湯島絵図」(国立国会図書館デジタルコレクションより)

御茶ノ水駅から出発。本郷台地の尾根道に沿って、湯島聖堂（昌平坂学問所跡）から、神田明神、学問の神様菅原道真を祀る湯島天満宮までを巡ります。歴史を振り返りつつ、学問の聖地をご案内させていただきます。

(距離：2km、所要時間：2時間)

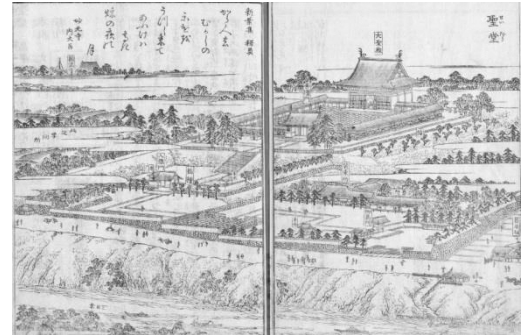
主な見どころ

湯島聖堂

文京区湯島1-4-25 国指定文化財史跡 [地図](#)



江戸名所図会



(国立国会図書館デジタルコレクションより)

孔子を祀る大成殿を据え、今も儒教を学ぶことができる場所。一步入れば静謐な空気に包まれて、身の引き締まる思いがします。湯島聖堂は、もともと上野忍岡にあった孔子廟を徳川5代将軍綱吉がこの地に移し、後に幕府直轄の昌平坂学問所（昌平黌）へと発展しました。

近代教育発祥の地

明治維新後、日本で最初の師範学校が開設され、近代教育発祥の地となりました。現在の大成殿は以前の建物を参考にして、

昭和10年（1935）に再建されたものです。

(土・日・祝日に有料で内部を公開)

ここに注目!

入徳門

宝永元年（1704）に建てられたものが今も残っています。湯島聖堂内で一番古く、唯一の木造建造物です。文字通り漆黒の門は純国産漆塗り。



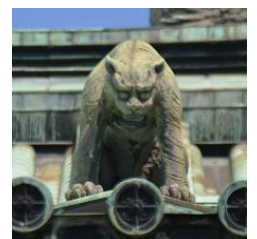
大成殿の屋根の妖獣



鬼狛頭

大棟の鬼狛頭は想像上の神魚で、水の神として火災を防ぐといわれています。

下り棟の鬼龍子は猫型蛇腹で牙があり、悪鬼邪神が内部に入って来ないように見張っています。



鬼龍子

神田明神

千代田区外神田2-16-2 [地図](#)



江戸名所図会



(国立国会図書館デジタルコレクションより)

正式名称は神田神社。神田、日本橋、秋葉原、丸の内、旧神田市場、築地魚市場108町会の総氏神です。創建1300年に向けて整備されつつある境内は、いつも多くの参詣者でにぎわい、気持ちも浮き立つようです。

天平2年(730)、豊島郡芝崎村(現在の大手町将門塚周辺)に創建され、平将門、^{おこなむちのみこと}大己貴命(大黒様)、^{すくなびこなのみこと}少彦名命(恵比寿様)が祀られています。

このお祭りは日枝神社の山王まつりと並ぶ天下祭りです。将軍家肝いりで行われた天下祭りは、根津権現を合わせて3つだけ。江戸時代は36もの山車にが行列を連れ、江戸城内に入ることを許されていました。今は神輿行列に代わり、日枝神社と隔年で本祭りが挙行されています。

ここに注目!

社殿 国の登録有形文化財

関東大震災で焼失後の昭和9年(1934)、鉄筋コンクリート造りながら朱の本漆塗りで再建されました。

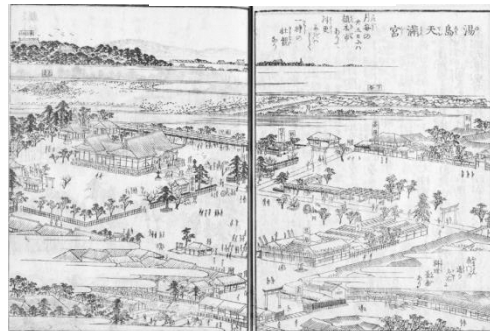


湯島天満宮

文京区湯島3-30-1 [地図](#)

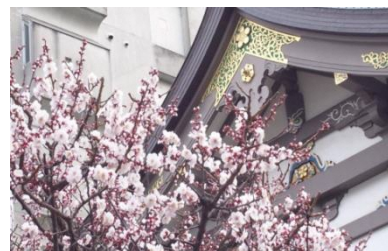


江戸名所図会



(国立国会図書館デジタルコレクションより)

雄略天皇2年(458)、あめのたちからをのみこと天之手力雄命を祀る戸隠神社として創建されたと伝えられています。その後、学問の神様菅原道真を祀るようになり、湯島天神として知られるようになりました。受験シーズンには参道に屋台が立ち並び、多くの参拝者が訪れます。社殿は平成7年(1995)に総檜で建てかえられました。2月に梅まつり、11月に菊まつりが行われ、花見の場所としても有名です。



ここに注目!



表鳥居 都指定文化財

寛文7年(1667)に建造れた銅製鑄造鳥居。

奇縁氷人石 区指定文化財

江戸時代に人通りの多い所に建てられた、いわば迷子探しの伝言板です。縁結びにも御利益があると言われています。



な 撫で牛

菅原道真は丑年生まれだったとのこと。自分の体の悪い部分と牛の同じところをなでると治るそうです。



クイズチャレンジ！

このコースは起伏に富んだ地形も魅力的です。途中で出会う急峻な階段坂の名前はなんでしょう？

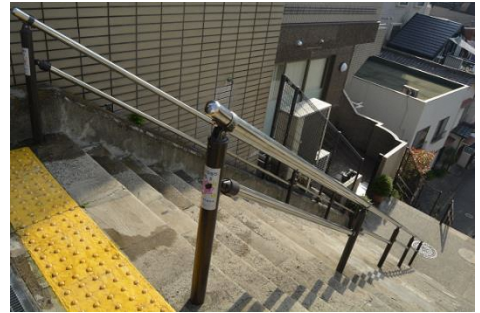
①



②



③



[文京グルメマップ（湯島・本郷エリア）](#)

[ガイドツアーのお申し込みはこちら](#)

構成、文 文京区観光ガイド
(出典の記載のない画像は筆者撮影)

クイズの答え

① 明神男坂 ② 天神石坂 ③ 実盛坂